

防災危機管理部の基本方針

(職員数は平成28年4月1日現在)

部局名 防災危機管理部

部長名 佐野 勉

部局内の執行体制		
課名	課長名	職員数
危機管理課	菅沼 秀敏	6
災害対策課	わき 孝行	15

基本方針

誰もが、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進し、市民の生命、身体や財産に重大な被害を及ぼさないよう「平塚市地域防災計画」や「平塚市国民保護計画」などに基づき、対策を講じます。

地震や風水害などの自然災害については、自助・共助・公助の連携によるさまざまな防災・減災対策を通じて、地域防災体制の充実と強化に向けた取組を進めます。

また、自然災害以外の危機事態については、「避難」「救護」「被害の最小化」を柱として、県や関係機関と連携して国民保護措置等を実施します。

さらに、市民が犯罪に巻き込まれないよう防犯意識の高揚と啓発活動の充実を図るとともに、防犯設備の適正な維持管理に努めます。

平成28年度の目標

- ① 新たな津波浸水想定のお知らせと意識啓発等を行うため、地震防災マップ・津波ハザードマップを更新します。
- ② 自治会から移管を受けた防犯街路灯の一括LED化を行います。
- ③ 総合防災訓練をはじめ、土砂災害及び津波避難に関する対策訓練を実施します。
- ④ 防犯キャンペーンや地域見守り花植え活動などの防犯活動を推進します。

主な事業

地震・津波防災対策事業 (災害対策課)	平成28年度の取組
	県から新たに津波浸水想定等が公表されたことに伴い、市民へ新たな津波浸水想定のお知らせと意識啓発などを行うため、「平塚市地震防災マップ・津波ハザードマップ」を更新し、全戸配布します。
	最終報告 広報ひらつか平成29年3月第3金曜日号(3月17日発行)と同時に全戸配布しました。また、市ウェブでも公開し周知を図りました。
防犯設備整備事業 (危機管理課)	平成28年度の取組
	自治会等から市へ移管を受けた防犯街路灯について、安定した明るさによる夜間の安心感の向上を図るため、民間のノウハウを活用した手法により、省エネ・長寿命のLED灯への一括での切り替えを行います。
	最終報告 自治会等から市へ移管を受けた防犯街路灯について、エスコ事業により一括LED化を行いました。これにより、市内すべての防犯街路灯のLED化を完了しました。

主な事業	
防災訓練強化事業 (災害対策課)	平成28年度の取組
	7地区の土砂災害対策訓練で、地域ごとに作成した災害マップをもとに、防災まち歩きを行い、より実効性の高い災害マップを作成します。また、津波避難訓練を学校や幼稚園、地元自治会などと連携して実施します。さらに総合防災訓練では参加体験型のブースを設け、市民の防災意識の高揚と知識・技術の啓発を図ります。
	最終報告
	土砂災害対策では、上吉沢地区をモデルケースとして「防災まち歩き」を行い、危険な箇所の写真等を加えた実効性の高い災害マップを作成し、公民館まつりや学校などに掲出しました。津波避難では、県が想定する津波到達時間までに津波浸水域外の安全な場所へ避難する訓練を実施しました。総合防災訓練は荒天のため中止となりました。
防犯対策推進事業 (危機管理課)	平成28年度の取組
	防犯意識の高揚および犯罪を未然に防止のため、警察や平塚市防犯協会と連携し、防犯キャンペーンや花植え活動を通して、地域を見守る人の目を増やすなどの防犯活動を推進します。
	最終報告
	警察や平塚市防犯協会と連携し、平塚駅周辺等での防犯キャンペーンなどによる啓発活動を実施するとともに、花の手入れや鑑賞により地域の防犯の目を増やしていく「地域見守り花植え活動」を平塚市防犯協会17支部で実施しました。